

大会規約並びに取り決め事項 第6条-別表-

2026  
大会開催要項 (別表1)

令和8年度

田辺・西牟婁学童野球協議会

## 1.特別延長戦

1回戦～準々決勝

①同点で試合時間を超えた場合：抽選

②6回が終了し同点で試合時間が残っている場合に限り特別延長を行う。

A級 時間内で最大2回

但し時間を超えて新しいイニングには入らない。

B・C級 1回

特別延長を終了しても同点の場合：抽選

準決勝・決勝

同点でイニング（表・裏）を終了し試合時間を超えたとき、6回を終了しても同点の場合、試合時間に関係なく特別延長を行う。

A級は 最大2回

B,C級は 1回

特別延長を終了しても同点の場合：抽選

## 2.投球制限（A・B・C級）

投球制限 一日 70球以内（但し4年生以下は60球以内）一週間 210球以内（4年生以下180球）とする。

①試合中規程投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。

②タイプブレークになった場合、一日規定投球数以内で投球できる。

③ボーグにもかかわらず投球したものは、投球数に数える。

## 3.コールドゲーム

**A級** 4回 10点、5回 7点差

**B級** 4回 7点差

**C級** 3回 10点差とする

#### 4.試合の成立

A級 5回 B級 4回 C級 3回をもって成立する

#### 5.令和5年度公式大会より1回戦よりシートノック5分間行う

#### 6.審判制度について

令和6年度公式大会は4人制とする。但し決勝戦は審判部で行うが部員不足等の場合に限り3人制を認める。

#### 7.外野フェンス（ネット）に関する取り決め

田辺・西牟婁学童野球協議会の公式大会で採用する

##### 【本塁打になる場合】

- ① インフライトでフェンスを越えた場合
- ② インフライト状態でフェンス網の上部に当たり越えた場合
- ③ 選手のグラブに当たるなどしてインフライトの状態でフェンスを越えた場合

##### 【エンタイトル2塁打になる場合】

- ④ インフライトの状態でなく（ワンバウンド等一度地面に触れた球はインフライトの状態が消える）フェンスを越えた（フェンス上部を超えるまたは下部から抜ける）場合

##### 【アウトの場合】

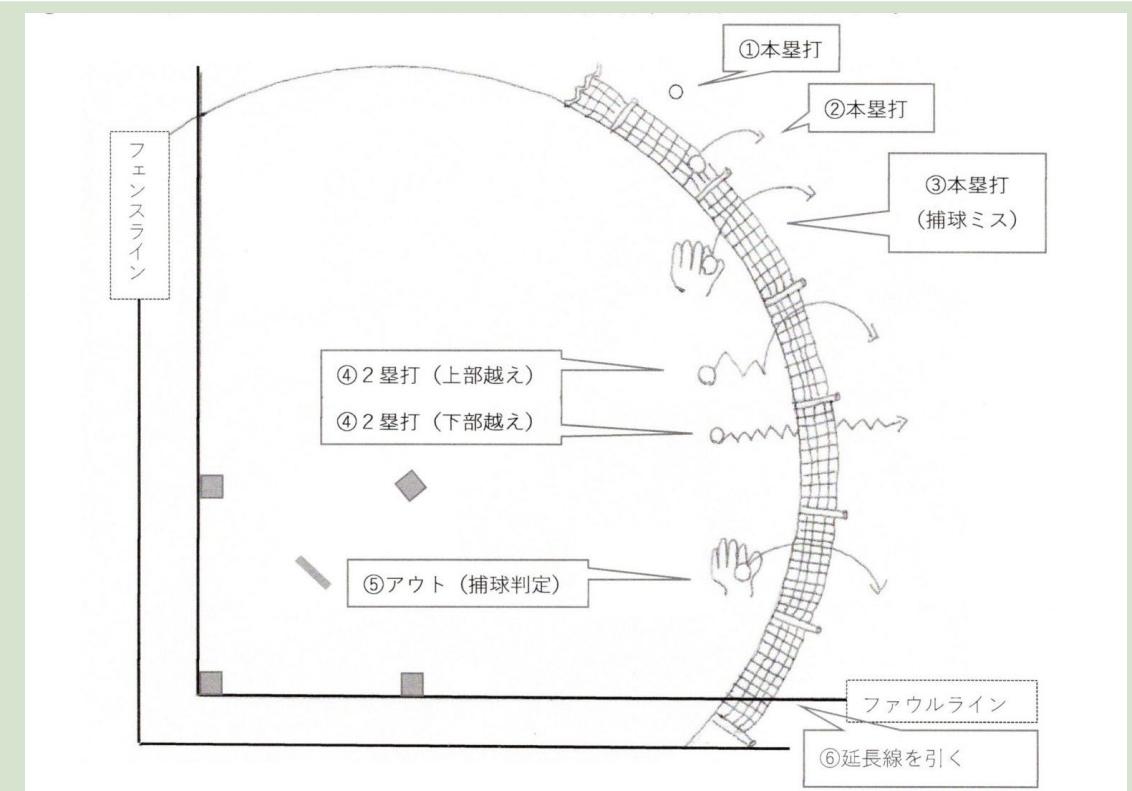
- ⑤ 捕球後ボールがフェンスを越えた場合。0アウト・1アウトでランナーがいれば1個進塁権を与える

##### 【ファウルラインを延長しておく】

- ⑥ ボールが飛ぶと思われるところまでファウルラインを引き打球を判断できるようにする

大会規約並びに取り決め事項 第10条 (10-2) 外野フェンス特別ルール

【倒れたネット上でのプレイはインプレイとする】



## 抽選方法

大会規約並びに取り決め事項 第9条 (7)

- ① 審判員は、試合終了時に出場していた両チームの選手を挨拶の状態（守備位置順）に整列させる。監督は自チームの斜め後ろに立つ。控え選手はベンチ前に整列させる。
- ② 抽選用紙に○印、×印を記入した各9枚を封筒に入れ、球審が先行チームより一枚づつ交互に選ばせる。このとき、一塁塁審は一塁側チームの右翼手、三塁塁審は三塁側チームの右翼手のところへ行く。
- ③ 後攻めチームの右翼手が封筒を引いたら、両審判員が回収し両チームの監督立会いのもと開封し、○印の多い方を抽選勝ちとする。
- ④ 勝敗が決した後、全選手を整列（監督はベンチに戻す）させ、球審が結果を告げ両チームキャプテン握手の後「ゲーム」を宣告する。

（球審は、結果を告げるとともに本部席やスタンドにもわかるように勝った側に片手を上げる。）

## 勝敗が並んだ時の順位の決め方

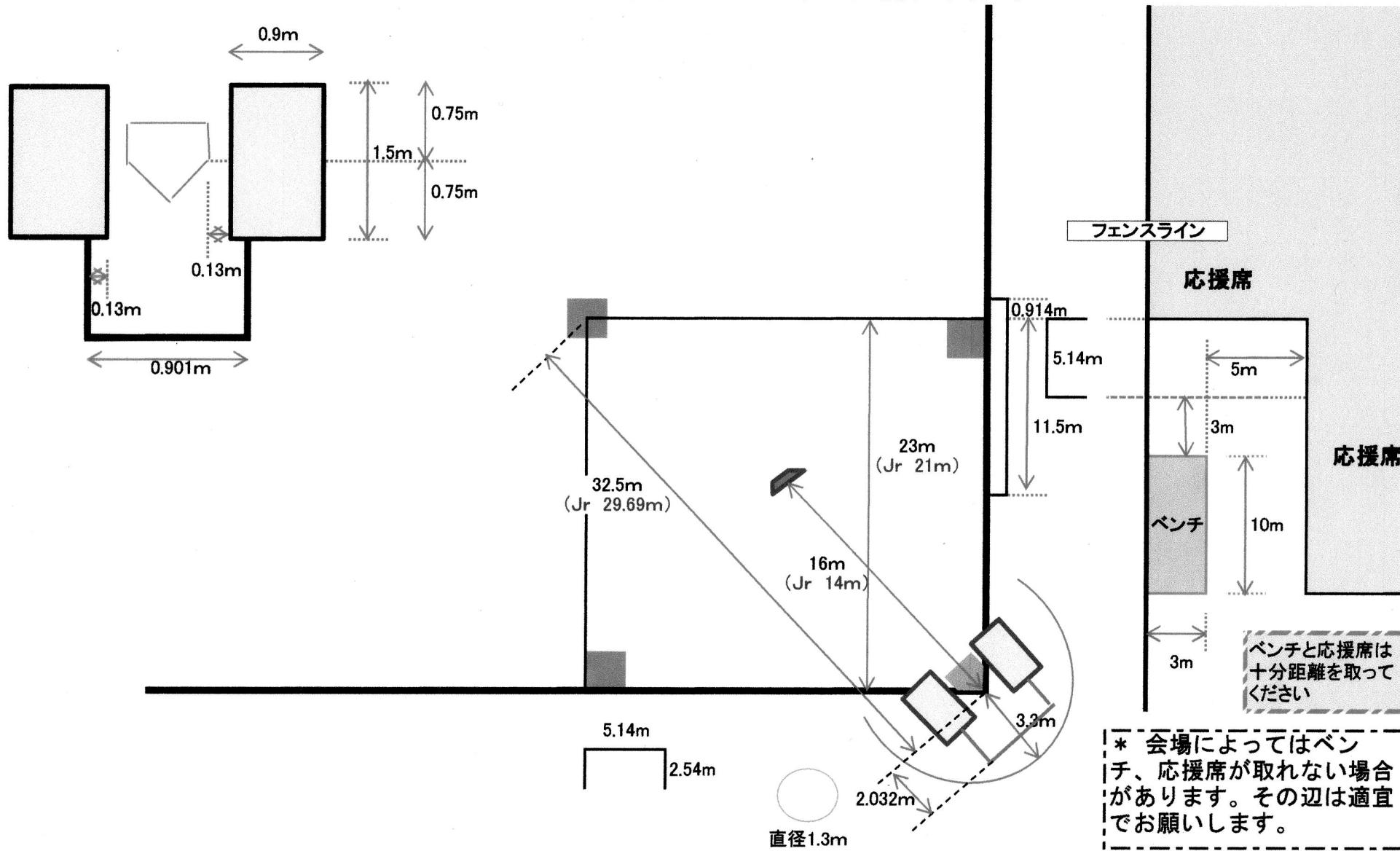
- ① ポイント制（下記） ポイントの多いチームが上位
- ② 総失点が小さいチームが上位
- ③ 得失点差が大きいチームが上位
- ④ 抽選（コイントス）

勝ち	
コールド勝ち	4
勝ち	4
タイブレーク勝ち	3
抽選勝ち	1

負け	
タイブレーク負け	-3
負け	-4
コールド負け	-5
抽選負け	-1

# 田辺・西牟婁学童野球協議会



# 神島台運動場:試合中の投球等練習箇所

